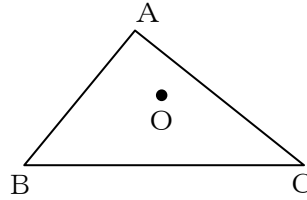
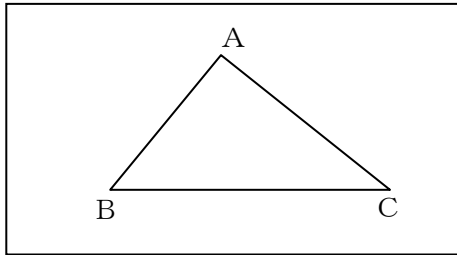


年 組 号 名前

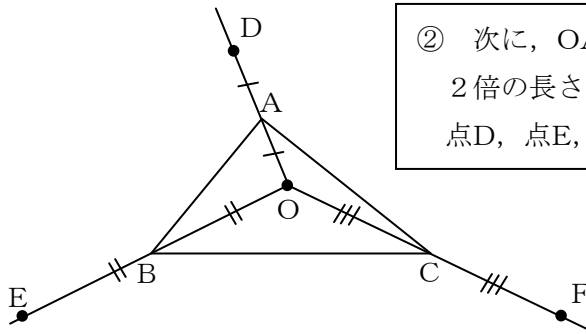
1 三角形ABCの2倍の拡大図は、①から③のようにしてかくことができます。

「拡大図のかき方」



① 最初に、三角形の内側の点Oを確認する。

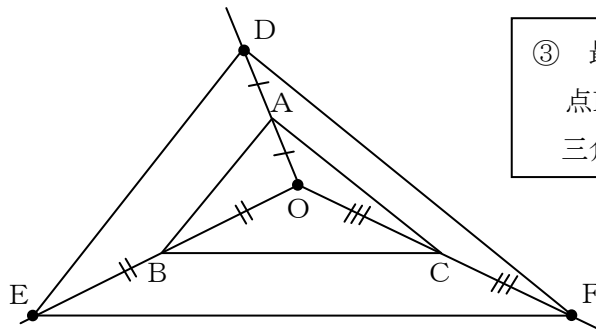
右の拡大図のかき方を使えば、 $\frac{1}{2}$ の縮図もかくことができるね。



② 次に、OA, OB, OCの2倍の長さのところに、点D, 点E, 点Fをかく。

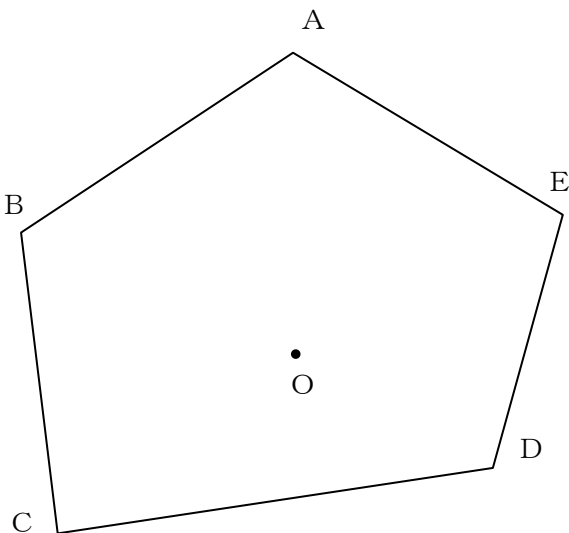


はなこさん



③ 最後に、点D, 点E, 点Fを結んで、三角形DEFをかく。

はなこさんは、五角形ABCDEの $\frac{1}{2}$ の縮図を「拡大図のかき方」を利用してかくことにしました。五角形ABCDEの $\frac{1}{2}$ の縮図である、五角形FGHIJを下の図形にかき、どのようにしてかいたのか、言葉を使って説明しましょう。



[説明]

答えとポイント

はなこさんは、五角形ABCDEの  $\frac{1}{2}$  の縮図を「拡大図のかき方」を利用してかくことにしました。五角形ABCDEの  $\frac{1}{2}$  の縮図である、五角形FGHIJを下の図形にかき、どのようにしてかいたのか、言葉を使って説明しましょう。

① 最初に、五角形の  
内側の点Oを確認する。

【ポイント】

図形の内側にある点Oを使って拡大図・縮図をかくことができます。その場合は、点Oから頂点までひいたそれぞれの直線の長さの比を同じにしたところに点をかき、その点を結ぶようにします。

② 次に、OA, OB, OC, OD, OE  
の  $\frac{1}{2}$  の長さのところに、点F, 点G, 点H, 点I, 点Jをかく。

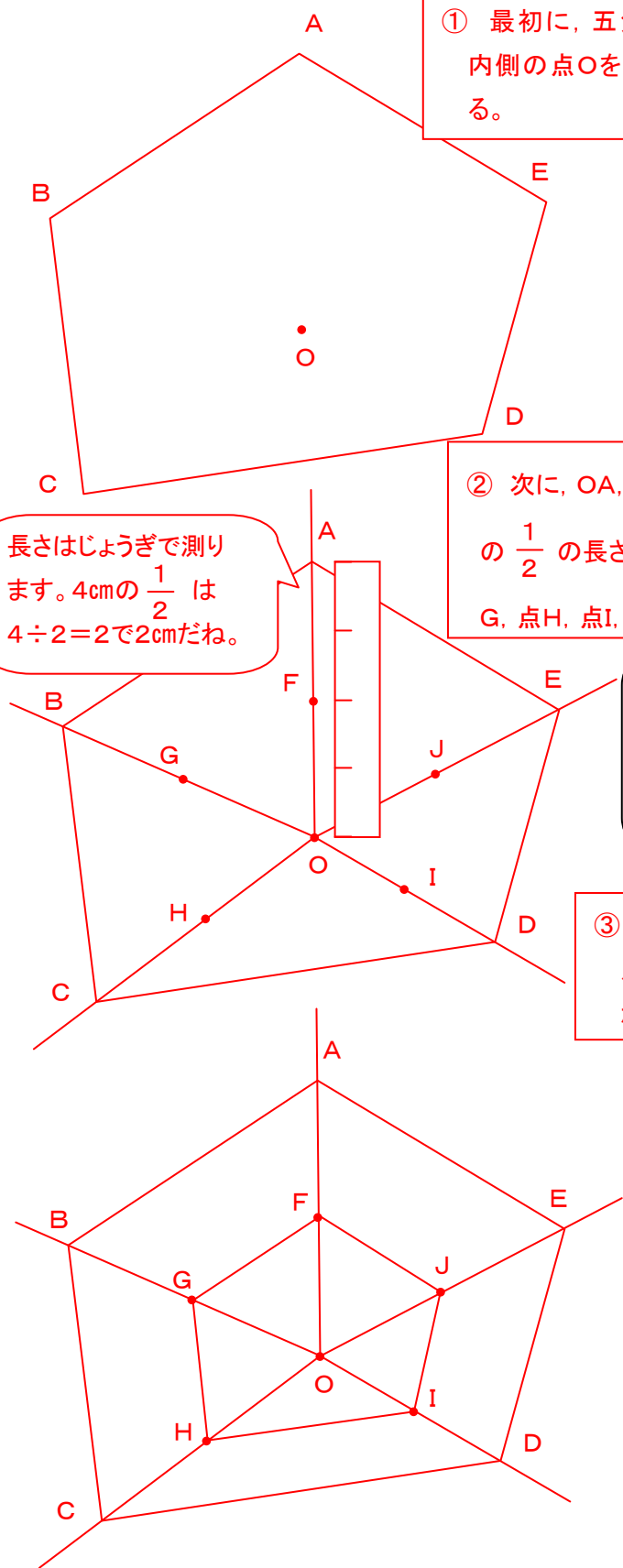
【ポイント】

作図した手順を説明するときは、「最初に」「次に」「最後に」といった言葉を使って、考えたことを整理して書くようにしましょう。

③ 最後に、点F, 点G, 点H, 点I,  
点Jを結んで、五角形FGHIJをかく。

[ 説明 ]

- ・最初に、点Oからそれぞれの頂点に向かって直線をひく。
- ・次に、OA, OB, OC, OD, OEの長さをじょうぎで測り、それぞれの  $\frac{1}{2}$  の長さのところに点F, 点G, 点H, 点I, 点Jをかく。
- ・最後に点F, 点G, 点H, 点I, 点Jを結んで、五角形FGHIJをかく。



長さはじょうぎで測ります。4cmの  $\frac{1}{2}$  は  $4 \div 2 = 2$  で2cmだね。